

積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和5年2月15日 No. 52 文責：佐野紳二

授業参観・学年部会

2月7日（火）、今年度最後となる授業参観・学年部会が開催されました。今回は1～3年生の授業参観でしたが、たくさんの保護者のみなさんに参加していただき、ありがとうございました。

1～3年生は、どの学年も保護者のみなさんに向けた発表をする学習でした。1年生はこの1年間で自分ができるようになったことをグループごとに発表しました。2年生は生活科「明日へジャンプ」の中で調べている自分が生まれたときの様子を、赤ちゃんの頃の写真を映しながら一人一人が発表しました。3年生は今年できるようになったことと、自分の心の中にある「鬼」を発表し、最後に鬼をやっつけるためにみんなで豆まきをしました。どの学年の発表も、子どもたちの1年間の成長が感じられる素晴らしいものでした。

授業参観・学年部会は今週末が4・5年生、来週末が6年生と続いていきます。残りの学年もどうやら何かを発表する授業になりそうです。ぜひ、子どもたちの頑張る姿を見に来ていただければと思います。



1年生・できるようになったこと発表会



2年生・明日へジャンプ「生まれたころの私」



3年生・心の中の鬼をやっつけろ！



あ那时的、小さな私へ

「あ、懐かしい匂い…」

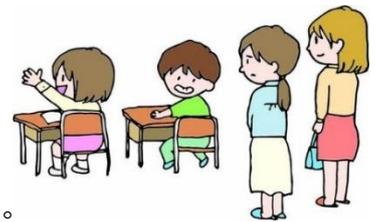
その小学校の廊下に足を踏み入ると独特な匂いが鼻をくすぐった。床の木のあたたかみのある香りと、古い本の匂いが混ざり合ったものだ。

“昭和レトロ”なその建物は築80年を超える木造校舎を移築したものだそうで、自由に見学できた。ふらりと教室に入ってみると、小さな木の机と椅子が並んでいる。とても古いけれどよく使い込まれていて、なんとも愛らしいたずまいだ。

小学生ってこんなに小さかったかしら。驚くと同時に、自分が1年生の時のある記憶がよみがえってきた。その日、私は何度も何度も教室の後ろを振り返った。母を探していたのだ。

父兄参観日というのに、何かの用事で少し遅れてしまったのだろう。

来ないのかな？どうしたのかな？先生の声がすうっと遠のいていく。泣きそうな気持ちでもう一度振り返ると、父兄の後ろから身を乗り出すように私を見つめる母と目が合った。私の好きな白いワンピース姿だった。うれしくてようやく黒板に向かえたなあ。あれは「こくご」の授業だった…。



校舎の匂いと小さな椅子から始まった不思議なタイムスリップ。しばらく余韻に浸った後、小さな私にまたねと言って教室を出た。

外部の方による授業2つ

先週の金曜日、雪の降りしきる中、5年生の総合の授業に桃園地区在住の齊藤康弘様にお越し頂き、内藤多仲博士がつくった東京タワーの耐震構造についてお話をいただきました。たくさんのパネルやスライド・模型を用意してお話になり、子どもたちは熱心に耳を傾けていました。2月2日（木）には曲輪田地区在住の保阪さつき様に、内藤多仲博士の生い立ちや人となりについてお話をいただきました。たくさんのことを教えていただき、来年の修学旅行に向けてとてもよい学びができました。



13日（月）には、橿形中学校からお二人の体育の先生に来ていただき、6年生を対象とするマット運動の授業をしていただきました。マット運動そのものだけでなく、橿形中学校での体育の授業の進め方についても丁寧に教えていただき、子どもたちにはとてもよい刺激になったようです。号令や先生方の声掛けに対して、きびきびと反応する6年生の姿がとても印象的でした。2日には英語の先生に出前授業を行っていただきました。こちらの様子はホームページにも掲載させていただきました。

